



令和5年4月19日 第1号

永福学園通信

東京都立永福学園
校長 緒方 直彦



令和5年度のスタートに当たって



令和5年度の教育活動がスタートしました。新入生も少しずつ学校に慣れてきている様子が見られるようになりました。さて、始業式等で子供たちや教職員に話したことを少し紹介します。私は常日頃から学校は一つの社会だと考えています。学校では児童・生徒だけでなく教職員、給食調理員、看護師等、様々な人が、様々な立場で、様々な役割や責任を果たしており、その結果、円滑な学校生活を送ることができます。

そのため、学校という社会の中で、子供たちにはそれぞれの役割を果たすとともに、社会性を身に付けてほしいと願っています。

例えば、子供たちはまだ学生であり、学習することでその役割や責任を果たすこととなります。各教室や学習室は、社会人に例えれば職場となります。特に、職業現場を再現した実習室で学ぶ就業技術科の生徒にとってはまさに職場です。さらに、昨年整備した図書室は、地域で言えば図書館です。過日オープンした永福ギャラリーは、地域で言えば美術館です。そして、職場や図書館、美術館には、当然規則やマナーがあります

それらのことを、子供達には実際の体験をもとに、学校の中でも意識することで、社会性を培ってほしいと願っています。そのためには、教職員が、校内のリソースを改めて社会や地域の中で例えると何に該当するのかを常に意識して指導・支援をすることが重要となります。また、そのような指導・支援が子供達のキャリア発達を促進させることにつながると考えます。今年度も校内での指導・支援の成果を実際に校外学習等で体験させることなどにより、子供達のキャリア発達を支援してまいります。

次に、本校の教育が目指すところ、目的について話をしました。

永福学園には、肢体不自由教育部門と高等部就業技術科が設置され、多くの児童・生徒が、この校舎で共に学んでいます。また、校舎内には、大塚ろう学校永福分教室があります。図書室や永福ギャラリー等は、同じ校舎に学ぶ子供や教職員の交流の場になってほしいと願っています。そして、永福学園は、障害の種別や学校の違いを問わず、ギャラリー入口に掲げてある書家の金澤翔子氏が書いた「共に生きる」をテーマに、同じ校舎で学ぶ幼児・児童・生徒同士が、文学や芸術作品を鑑賞する等の交流活動を通じて、互いを尊重し合い、助け合う学校でありたいと考えます。

永福ギャラリーに展示されている作品は、子供たちの想いがこめられており、それぞれ個性あふれる作品ばかりです。定期的に入れ替えを行う予定です。多くの皆様に、子供たちの作品を御鑑賞いただければ幸いです。

このような取り組みを通じて、永福学園は、学校全体で、特別支援教育が目指す、障害の有無にかかわらず、互いを尊重し、支え合う、「共生社会」の実現を目指した教育を実践してまいります。今年度も本校の教育活動に関して御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

校長 緒方 直彦



永福学園・大塚ろう学校分教室

オープニングセレモニー

※参加した代表児童・代表生徒の感想です

肢体不自由教育部門 中学部生徒

オープニングセレモニーのテープカットは、以前はさみで手を切ったので、自分はいわくでできないなあと思いました。でも、絵をみることは楽しいと思いました。

大塚ろう学校 永福分教室児童

一番に展示されてうれしかったです。どこに貼ってあるのかドキドキしました。とても上手で面白い作品ばかりでした。また絵を描きたいです。



大塚ろう学校 永福分教室児童

どの作品も特ちょうがあつてすばらしかったです。ほくも永福ギャラリーに作品がてんじされるようにがんばります。

就業技術科生徒

いろいろな絵があつて、みんなそれぞれ表現したいことが違つていて、個性があつて素晴らしいと思いました。自分の作品は、一番上の入口のところ飾られていて、とても嬉しいです。

就業技術科生徒

自分の作品（版画）が、ちよつと違つて見えました。額に入つていてきれいでした。嬉しいです。

肢体不自由教育部門 高等部生徒

セレモニーではテープを切りました。楽しかったです。絵を飾ってもらいたいです。観に来てもらいたいです。



★編集後記★

昨年度の図書館リニューアルオープンに続き、今年度は永福ギャラリーがオープン。今や進化がとまらない永福学園。永福学園の児童・生徒と大塚ろう学校永福分教室の児童にとって、校舎全部がひとつの社会に。共に生きるための学びの場にアップデートされているように強く感じます。これからもさらに.....

肢体不自由教育部門 主幹教諭：池田佳信

【連絡事項】

令和5年度の教職員異動者一覧及び教職員体制一覧については、ホームページの「保護者向けページ」に掲載いたします。その際に必要なパスワード等は、近日中にマチコミメールでお知らせいたします。

東京都立永福学園

副校長 秋本 友美 山崎 裕之 安田 泉
主幹教諭 池田 佳信 池田 奈央子

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号
電話 03-3323-1380 FAX 03-3323-1381
<http://www.eifuku-sh.metro.tokyo.jp/>